

楠・楡木・龍田・龍田西・武蔵・弓削 校区

地域ケア計画



令和2年3月作成

熊本市高齢者支援センター ささえりあ武蔵塚

(熊本市北5地域包括支援センター)

目 次

はじめに

1. 圏域内の状況

- 1) 校区の特色等
- 2) 世帯の状況
- 3) 人口及び認定者数の状況

2. 地域資源の状況

- 1) 介護保険サービス事業所
- 2) 医療機関
- 3) 警察・消防・郵便局・公共施設等
- 4) インフォーマルサービス

3. 地域活動の状況

- 1) サロン・老人会・くまもと元気くらぶ・地域行事・イベント等
- 2) 地域団体の組織活動
- 3) ボランティア等情報
- 4) 地域の医療・介護関係者の連携会議、勉強会等

4. 地域における支えあい推進のための課題整理と今後の方向性

※本計画の内容は、楠・楡木・龍田・龍田西・武蔵・弓削 校区または住所順を基本に掲載しています。

はじめに

高齢化の進展に伴い、地域ではひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加、認知症高齢者の増加が顕著となっています。このような中、地域で生活する高齢者を支えるため、地域包括ケアシステムの構築が必要です。

地域包括ケアを構築するためには、高齢者の現状と地域資源について、高齢者自身や関係者が把握しておくことが重要です。また、高齢者を支えるために、地域で何ができるかということを検討していくことも重要です。

この計画書は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域の実現を目標として、地域で連携して地域包括ケアシステムを構築するために、現状を整理し、方針を定めるものです。

※地域包括ケアシステムとは

要介護状態となっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのことで、地域の自主性や主体性にに基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。

この仕組みづくりにおいて、地域包括支援センターでは、地域の様々な資源を把握し、それらを有機的に連携させた上で高齢者につなぐ役割を担っています。

「熊本市高齢者支援センターささえりあ」は熊本市の地域包括支援センターの愛称で、熊本市内に27カ所設置され、保健師や社会福祉士、主任ケアマネージャー等の専門職と、地域の中で支え合いの仕組みづくりを推進する生活支援コーディネーターを配置しています。



高齢者支援センター

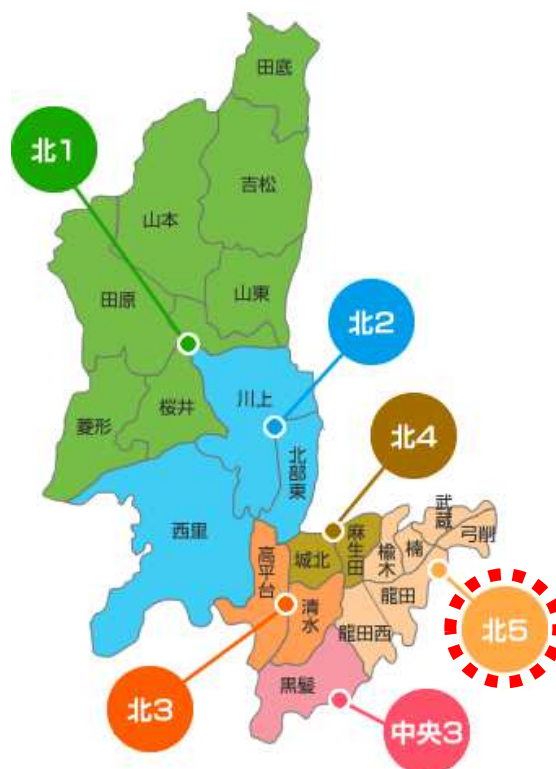
ささえりあ

1. 圏域内の状況

熊本市北 5 地域包括支援センター(以降：ささえりあ武蔵塚)は、熊本市北区の東部に位置し、北側に合志市、東側に菊陽町、南側に熊本市東区、西側は熊本市中央区に隣接した圏域を担当している。

東西に JR 豊肥本線が走っており、光の森駅、武蔵塚駅、竜田口駅と 3 つの駅が所在している他、東バイパスと北バイパスに挟まれるような地形のため、自家用車等での市内中心部や郊外の大型商業施設等のアクセスも良好である。しかしながら、バスの路線が無い地域や坂の多い地域もあり、交通の便に不自由を感じている方も多い現状もある。

圏域内は昭和 30 年代後半頃から宅地開発が進められた地域を中心に構成されており、市営団地が 6 カ所ある等、当時若くして入居してきた同世代の方々が年齢を重ねられて現在に至っていることから、高齢者人口も熊本市内 27 カ所のささえりあの中で一番多くなっている。



1) 校区の特色等

【楠校区】

校区内のほとんどは平坦な土地に広がっている。東側に九州自動車南北に通り、武蔵ヶ丘のバス停がある。南側には JR 豊肥本線が走っていて、JR 武蔵塚駅までも徒歩圏内の地域もある。西側にはバス会社 2 社の発着所があり熊本市内方面や菊陽町光の森方面へのアクセスが良好で、校区内にタクシー会社もある等交通の便が良い。スーパーやドラッグストア、郵便局、銀行、理美容室、飲食店、診療所等が徒歩圏内にあり、入院可能な病院もある。校区内には大小 7 つの公園があり、地域住民の憩いの場やウォーキングコースになっている。

4・5 町内には市営団地が建ち並び、入居者が半数以上を占める町内もある。築 40 年以上が経過している古い棟もあり、入居年数が長い方等の高齢化により独居高齢者や、身寄りのない入居者も多く、緊急時の対応や見守り活動では、民生児童委員の負担が大きくなっている。6 町内については他の町内と比較して年齢層が低く、戸建て住宅も多いほか、7 棟ある市営団地は築 33 年と 60~70 代の入居者が多い。

校区全体で子どもの数が減っていて、小学校では 1 クラスの学年もある。また、校区内の民間アパート入居者は自治会に加入しない傾向が目立ち、地域との関わりが希薄である。老人会やサロン活動等の高齢者の集いの場も多いが、年々地域行事への参加者が減少しているため、独居高齢者の孤独死を防ぐためにも、安否確認の充実が必要である。令和元年には校区で初めてとなる認知症徘徊者への声かけ模擬訓練が開催された。

【楡木校区】

昭和 61 年に楠小学校と麻生田小学校から分かれて楡木小学校が開校したのを機に、清水町の楡木地区と楠団地西側の住民が一緒になって、新しい楡木のまちが形成された経緯がある。

現在、校区内の多くは住宅地となっており、1 町内に残っていた田畑の多くもここ数年で宅地化し、若い世代が多く入居するようになったことで子どもが増えてきている。

3・4 町内には市営団地があるが、比較的新しい団地の一部はシルバーハウジングとなっており、常駐する LSA(生活援助員)による安否確認や日常生活の援助が受けられるようになっている。

校区内にはコンビニや商店、クリニックが数軒あるが、スーパーや金融機関はない。そのため通院、買い物、金融機関等を利用するために校区外に出向く高齢者は、移動手段として自家用車を利用せざるを得ない方も多い。

平成元年には楡木小学校北側に楠・麻生田バイパス、平成 10 年には校区の東側に北バイパスが開通し、交通量や人の往来が多くなった。しかし、主要な道路はバスが通っているものの、バス停までの距離が遠い地域も多い。

過去に校区まちづくり委員会が行ったアンケートの中で、より安心・安全なまちにするには、高齢化社会対策や生活環境の見直し、住民のふれあい、防犯対策、青少年健全育成等についての活動に力を入れてほしいとの要望が出ている。

各町内のサロンや老人会活動は定期的に行われているが、楡木むつみ老人憩の家は施設の利用頻度が高いうえ、スペースの問題で新規の受け入れが難しいといった課題も出ている反面、老人会への入会や地域行事への参加は減少傾向にある。また、校区内にある熊本市夢もやい館では介護予防教室等が行われて、午前中はほぼ満員の状態である。平成 31 年には楡木地域コミュニティセンターが開設され、地域住民による様々な活動が行われている。

【龍田校区】

龍田校区はもともと熊本市で一番人口が多い校区だったが、平成 28 年に龍田西小学校が開校し、校区が 2 つに分離した。東西に長い地形になっており、南側に白川、校区中心部を東西に JR 豊肥本線と県道 337 号熊本菊陽線(旧国道 57 号線)が通っている。

県道 337 号線沿いには、北区役所龍田まちづくりセンター(総合出張所、公民館、児童館、図書室も併設)や交番、銀行、郵便局、幼・保育園、小中学校や商店、医療機関があり、車やバスの往来も多い。また、高台の地域を含む 2~4 町内の一部は県道 231 号線沿いの商店やスーパー、医療機関等が近いが、県道 337 号線と県道 231 号線の間位置する地域においては、坂や狭い道が多くバス路線の乗り入れもないため、高齢者が買い物や病院受診等外出することに不便を感じている等、利便性において地域差がみられる。

高齢者が集う場所は龍田公民館や各町内の公民館があるほか、老人憩いの家校区中心部には地域コミュニティセンターもある。

龍田地域は古くから人が居住していたこともあり、龍田小学校は平成 27 年に創立 130 周年を迎える等、地域としての歴史や住民同士の繋がりもあったが、近年では民間アパート等入居者も増え、自治会の加入者も減少する等、人間関係の構築が難しくなりつつあるという課題もある。

また、平成 24 年 7 月九州北部豪雨による白川の氾濫や平成 28 年の熊本地震でも被災した家屋が多く、自宅を再建されたところもあるが、他の地域に転出した世帯もある。

【龍田西校区】

平成 28 年に龍田西小学校の開校と同時に新しくできた校区で、龍田校区から分離した。新興住宅地の開発により若い世代が増えたこともあって、令和元年 12 月時点での高齢化率は 20.3%、熊本市の 25.9%や北区の 28.1%と比較すると低くなっている。

校区には県道 337 号熊本菊陽線(旧国道 57 号線)と北バイパスが通っている。また、JR 豊肥本線が校区南側を走り竜田口駅がある。住宅地の大半(ビオトープ立田の杜、もえぎ台団地、ニュータウン三光団地等)が丘の上にあるもののバスの乗り入れがなく、北バイパスを走るバスの本数も限りがある。加えて、校区内には商店がほとんどなく、歯科および精神科(心療内科)以外の医療機関がない等、外出にはマイカーやタクシー等が必須な地域が多い。

1・3 町内には公民館等の集う場所がなく、距離的な問題や坂が多い等により 2 町内にある陳内公民館まで徒歩で行くことが難しい高齢者も多い。

平成 30 年度までは、ケアハウス秀照庵のホールを利用して基幹型ふれあいサロンが開催されていたが廃止となった。平成 30 年 1 月に校区社協が中心となり、陳内公民館でくまもと元気くらぶを立ち上げ、毎週土曜日に実施している。

小学校からの呼びかけで高齢者を中心としたスクールガード約 50 名が児童の登下校の見守り活動を行っており、児童と共に小学校まで一緒に歩く方もいる等、ボランティア自身の健康づくりや、世代間交流の場にもなっている。

【武蔵校区】

校区の西側には九州自動車道、南側には JR 豊肥本線や県道 337 号熊本菊陽線(旧国道 57 号線)が通り、武蔵塚駅がある。もともと丘陵で農業地帯だったこの地を熊本県(県住宅公社)主導で大規模な住宅地開発が計画され昭和 45 年から造成が行われ県下有数の大団地になり、その後昭和 52 年に武蔵小学校が設立され校区が誕生した。

武蔵ヶ丘団地の造成当時は、校区を東西に走っている武蔵中央通りを中心に商店街やスーパーが建ち並び、人口増加とともに急激な発展を遂げた。現在は内科や整形外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、歯科等の医療機関も充実している。中心部には交番や郵便局があり、銀行も近いが、令和元年にスーパーが閉店したため、近隣の高齢者は不便を感じている。また、隣町である菊陽町光の森周辺の発展により、商業の中心地が移ってしまったが、ニュータウンとして形成された町並みは交通の便も良く住みやすい。

武蔵ヶ丘団地造成時に転居してきた住民の多くが 65 歳以上となり、高齢者数が増え、高齢化率は 27.8%になり、熊本市平均 25.9%よりも高齢化率が高くなっている。町内によっては高齢化率が 40%を超えているところもある。

校区社協と民生児童委員や福祉協力員による地域活動が活発で、高齢者と保育園児が交流する場として年 1 回の福祉レクリエーションや、毎週火曜日に地域コミュニティセンターでふれあいサロンを開催している。ふれあいサロンはささえりあ武蔵塚や近隣の介護サービス事業所が協力をしている。また、校区社協が高齢者福祉の一環として、病気や体の不自由な方の生活を見守りながら、万一の災害時にいち早く救助する体制を確立するため、福祉ネットワーク会議の開催を実施している。その他にも、高齢者や認知症の人を地域で支える体制作りとして小中学校での認知症サポーター養成講座への協力や校区内での認知症徘徊者声かけ模擬訓練を実施する(平成 31 年度まで 4 年連続で実施)等、校区全体で認知症に関する取り組みを行っている。

【弓削校区】

弓削校区は北区の中でもっとも東に位置し、6つの町内から成っている。南側の託麻北校区との境には白川が流れ、県道 337 号熊本菊陽線(旧国道 57 号線)、東バイパス、菊陽バイパス等の大きな幹線道路や北側にはJR豊肥本線が通っている。地形は南北で高低差があり、南側は白川に向かって傾斜していることから坂道が多く高齢者が徒歩で移動することが難しい。

校区内にはマンションやアパートが少なく戸建の家が多い。4 町内に市営団地が1棟ある。令和元年に新たなマンションが6町内に3棟建設されたことで、今後若い世代を中心に人口及び世帯数が若干増加することが考えられる。

校区内にスーパーや金融機関はなく、医療機関も少ないが、近隣の菊陽町光の森には大型商業施設をはじめ金融機関や医療機関もあり、タクシーやマイカーを利用できる住民にとっては不便を感じにくい環境である。一方、徒歩での移動となると限りがある。公共交通機関は東バイパスや菊陽バイパス、県道 337 号線にバスが運行しているが、白川沿いのバス路線廃止等により困っている高齢者も多い。熊本市中心部へのアクセスは武蔵塚駅や光の森駅からJRも利用できるが、途中、市電やバスへの乗り換えが必要となる。

高齢化率は平成 29 年度地域ケア計画見直し時の 24.3%から 26.6%に上昇、熊本市の平均高齢化率 25.9%を超えており、令和 7 年には 28.2%となる推計が示されている等、今後より一層高齢化が進むことが懸念される。

このような環境の中、健康増進のために健康街づくり委員会を中心に「ゆるっとまち歩き」の開催や、6町内では平成30年6月に「弓削6町内健康くらぶ」を立ち上げ、毎週土曜日に「いきいき百歳体操」を実施している。校区ふれあいサロンや各町内のサロンも活発に行われている。また「ゆるっと見守り隊」を結成し、子どもの下校時の見守りとお互いの安否確認を行っている。健康に対する意欲や高齢者に対する取り組みへの意欲も高く、住民主体の活動を進めていくことができる地域である。

2) 世帯の状況

熊本市・北区・ささえりあ武蔵塚圏域内(全体・各校区毎)の高齢者世帯状況(平成27年)

区分	一般世帯数									
	高齢者単身世帯数+高齢夫婦世帯数									高齢夫婦世帯数
	高齢単身世帯数					うち男		うち女		
	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合	世帯数	割合		
熊本市	314,740	66,015	21.0%	34,279	10.9%	9,685	24,594	31,736	10.1%	
北区	55,050	12,983	23.6%	5,853	10.6%	1,596	4,257	7,130	13.0%	
ささえりあ武蔵塚	16,854	3,953	23.5%	1,768	10.5%	484	1,284	2,185	13.0%	
楠	2,548	779	30.6%	402	15.8%	115	287	377	14.8%	
楡木	2,947	851	28.9%	428	14.5%	117	311	423	14.4%	
龍田	4,063	797	19.6%	348	8.6%	99	249	449	11.1%	
龍田西	2,401	405	16.9%	153	6.4%	41	112	252	10.5%	
武蔵	2,652	688	25.9%	270	10.2%	75	195	418	15.8%	
弓削	2,243	433	19.3%	167	7.4%	37	130	266	11.9%	

※平成27年国勢調査より

3) 人口及び認定者数の状況

①熊本市・北区・ささえりあ武蔵塚圏域内(全体・各校区毎)の人口及び介護認定状況 (令和元年12月時点)

区分	人口	高齢化率	高齢者人口(65歳以上)		介護(支援)認定者数		要支援認定者数		
			うち、 75歳以上			認定率	要支援 1	要支援 2	
熊本市	733,651	25.9%	190,356	96,374	41,401	21.7%	12,750	7,027	5,723
北区	142,440	28.1%	40,090	20,564	8,615	21.5%	2,532	1,236	1,296
ささえりあ武蔵塚	42,820	26.0%	11,141	5,651	2,260	20.3%	672	363	309
楠	6,017	32.4%	1,952	1,057	410	21.0%	135	69	66
榎木	7,782	26.9%	2,092	1,144	481	23.0%	155	87	68
龍田	10,338	23.7%	2,454	1,146	476	19.4%	129	72	57
龍田西	6,540	20.3%	1,327	586	270	20.3%	66	37	29
武蔵	6,849	27.8%	1,907	1,056	362	19.0%	118	65	53
弓削	5,294	26.6%	1,409	662	261	18.5%	69	33	36

※人口は、熊本市統計情報室HPより住民基本台帳人口参照(令和元年12月1日時点)

認定数は、熊本市健康福祉局福祉部高齢福祉課より提供数値参照(令和元年12月31日時点)

介護認定者数および認定率は65歳以上を対象に算出した

②熊本市・北区・ささえりあ武蔵塚圏域内(全体・各校区毎)の人口及び介護認定推計 (令和7年)

区分	人口	高齢化率	高齢者人口(65歳以上)		介護(支援)認定者数		要支援認定者数		
			うち、 75歳以上			認定率	要支援 1	要支援 2	
熊本市	740,597	28.7%	212,317	121,537	45,719	21.5%	14,051	7,485	6,566
北区	145,753	30.0%	43,710	25,853	8,210	20.9%	2,421	988	1,434
ささえりあ武蔵塚	43,583	28.0%	12,190	7,269	2,347	19.3%	624	279	345
楠	5,894	34.7%	2,046	1,258	387	18.9%	102	45	57
榎木	7,743	28.9%	2,237	1,412	458	20.5%	118	52	66
(旧)龍田	17,569	25.2%	4,437	2,428	910	20.5%	247	111	136
武蔵	7,142	27.8%	1,989	1,285	312	15.7%	97	41	56
弓削	5,235	28.3%	1,481	886	280	18.9%	60	30	30

※この推計は熊本市の公式な推計結果ではない(各校区でのワーキングのための参考資料)

推計にあたって次の2点を仮定している

- 0~4歳は平成27年4月と同数とする
- 生存率のみを反映(社会増減・移動は未反映)

※第6次総合計画策定のための基礎調査中の年代別生残率を利用した試算

※各区分(要支援1・2)の認定率は平成27年のものをそのまま利用している

※「(旧)龍田」は龍田校区と龍田西校区の合算数(平成27年時点での推計値のため、龍田校区と龍田西校区の単独データはない)

2. 地域資源の状況

1) 介護保険サービス事業所 ※北5圏域内にある介護等関連の施設を掲載

【施設サービス】

●介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

食事や排泄等の常時介護が必要で自宅では介護が困難な要介護者が施設に入所して、介護保険の施設サービス計画に基づく入浴・食事・排泄等の介助、日常生活上の支援、機能訓練、健康管理等を受けるサービス。原則として、要介護3以上の方が入所対象となる。

事業所(施設)名	住所	電話番号
特別養護老人ホーム 天望庵	北区龍田陳内 1-3-30	339-7111
特別養護老人ホーム さわらび	北区弓削 4-8-1	386-3855

●介護老人保健施設

病状が安定し、リハビリテーションや看護・介護に重点を置いたケアが必要な要介護者が入所し、介護保険の施設サービス計画に基づく看護や医学的管理下での介護、機能訓練等の必要な医療や日常生活上の支援等を受けるサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
介護老人保健施設 ぎんなんの里	北区楡木 1-3-70	337-2700
介護老人保健施設 阿房宮	北区龍田陳内 1-3-20	337-1111

●介護療養型医療施設

長期の療養を必要とする医学的管理が必要な要介護者が入所し、介護保険の施設サービス計画に基づく療養上の管理、看護、医学的管理下での介護、機能訓練、その他必要な医療等を受けるサービス。

※北5圏域内には、現時点での該当施設なし。

●介護医療院

長期の療養が必要な方を対象に、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護や機能訓練、その他必要な医療、並びに日常生活上の支援を受ける施設。

事業所(施設)名	住所	電話番号
熊本博愛病院	北区楠 6-6-60	338-7117

【その他の施設】

●養護老人ホーム

生活環境上の問題や経済的な理由等により、在宅での生活が困難と認められる高齢者が対象で、日常生活上必要なサービスを受けることができる。 ※校区および北5圏域内には、現時点での該当施設なし。

●ケアハウス(軽費老人ホームC型)

自炊ができない程度の身体機能の低下があるか、高齢のため独立して生活するには不安があり、家族による援助を受けるのが困難な60歳以上の方が対象で、自立して生活できるよう環境設備に配慮されている。

事業所(施設)名	住所	電話番号
ケアハウス 秀照庵	北区龍田陳内 1-3-65	337-0365

●介護予防支援施設

第1号被保険者が要介護状態になることを予防するために、高齢者の健康維持を目的としたトレーニング器具を用いた運動指導やスポーツ教室等が受けられる施設。

事業所(施設)名	住所	電話番号
熊本市夢もやい館	北区楠 1-20-5-101	338-3210

※熊本市夢もやい館での活動について

熊本市夢もやい館は、熊本市内に居住する60歳以上の方が利用可能。

月～土曜(日曜・祝日・年末年始は休館)の9:00～20:00まで、様々な教室や活動の場を提供。内容は月毎に変わり、施設利用料(200円/日)や材料費が必要なもの予約制のものもあるため、詳細に関しては熊本市夢もやい館まで要問合せ。

【地域密着型サービス】

●通所介護

利用定員 19 名未満のデイサービスセンター等で、食事や入浴の提供や機能訓練等を行うサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
デイサービスらくらく楡木	北区楡木 3-10-12	348-7968
y3ケア	北区龍田 2-3-3	277-6363
ゆたーっと	北区龍田 2-19-1	348-1080
デイサービスしんしん	北区龍田弓削 1-16-38	348-7150
デイサービスまごころ本舗 武蔵ヶ丘苑	北区武蔵ヶ丘 1-8-15-1 階	215-2722
デイサービスまごころ本舗 光の森苑	北区武蔵ヶ丘 7-2-6	215-2766

●認知症対応型通所介護

認知症の高齢者がデイサービス等に通り、入浴や食事等の介護や機能訓練を受けるサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
共用型デイサービス カムさぁ	北区龍田陳内 3-37-7	337-2941

●認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

認知症の高齢者が家庭的な雰囲気の中で、少人数で共同生活を送ることにより、認知症の症状の進行を緩和させ、よりよい日常生活を送ることができるよう支援するサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
グループホームにれのき荘	北区龍田 4-12-22	337-1277
みずき苑	北区龍田 5-12-4	348-7175
グループホーム カムさぁ	北区龍田陳内 3-37-7	337-2941
グループホーム やすらぎの郷 たつだ	北区弓削 1-8-47	339-1119

●小規模多機能型居宅介護

「通い」を中心として、利用者の様態や希望等に応じ、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせるサービスを提供することにより、在宅生活の継続を支援するもの。

事業所(施設)名	住所	電話番号
看護小規模多機能ホームむさし	北区楠 7-15-1	339-5540
つどい処 愛和	北区龍田 8-20-95	277-1934

●地域密着型介護老人福祉施設

常に介護が必要であり、自宅では介護ができない方が対象で、定員 29 人以下の小規模な施設に入所し、食事、入浴等の介護や健康管理が受けられるサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
リデルホーム龍田	北区龍田陳内 3-19-12	274-1895

【在宅サービス】

●訪問介護(ホームヘルプサービス)

ホームヘルパーが家庭を訪問して、入浴・食事・排泄の介助や、炊事・掃除・洗濯等の日常生活の手助けを行う要介護者を対象としたサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
訪問介護事業所 みらいけあデザイン	北区楠 2-2-1	339-1837
武蔵ヶ丘訪問介護事業所	北区楠 7-15-1	342-5312
ヘルパーステーションハイコムライフ	北区楠 8-18-53	348-8156
ドリーム・ケアハウス	北区楡木 2-11-144	348-1232
訪問介護ステーション メロディー	北区龍田 2-3-23	277-1636
ゆたーっと	北区龍田 2-19-1	348-1080
訪問介護事業所 たつだ	北区龍田弓削 1-17-12	342-6068
天望庵訪問介護事業所	北区龍田陳内 1-3-30	337-1200
ヘルパーステーション まごころの手	北区武蔵ヶ丘 7-2-6	215-2777
ニチケアセンター楠	北区武蔵ヶ丘 8-4-52	215-2871

●訪問看護

主治医の指示の下看護師等が血压等の健康状態の確認、床ずれ等の医療的処置、酸素吸入器等の医療器具の確認や管理、リハビリテーションや食事・排泄等の介助を受けることができる。

事業所(施設)名	住所	電話番号
武蔵ヶ丘訪問看護ステーション	北区楠 7-15-1	342-5302
JAPAN INNOVATION	北区龍田 2-3-3	277-8282
訪問看護ステーションまごころ	北区武蔵ヶ丘 7-2-6	215-2777
訪問看護ステーション デューン光の森	北区武蔵ヶ丘 7-3-15	339-8671
訪問看護 地域リハステーション あーくす	北区弓削 6-26-1 2階	245-6823

●通所介護(デイサービス)

通所介護施設に通う要介護者に対して、社会生活の助長を大きな目標として、入浴や食事の際の支援、その他日常生活の支援を行うサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
デイサービスセンターハイコムライフ	北区楠 8-18-53	348-8156
リハセンターみどりの樹 楠	北区龍田 9-3-9	338-6800
デイサービスセンターわが家	北区楡木 2-11-144	348-8755
天望庵通所介護事業所	北区龍田陳内 1-3-30	339-7142
四季むさしの	北区武蔵ヶ丘 2-13-9	295-5883
デイサービス むさしの	北区武蔵ヶ丘 2-20-6	337-6111
デイサービスセンター さわらび	北区弓削 4-8-1	386-3855
リハビリセンターsmile-スマイル-光の森	北区弓削 4-8-10	338-1060

リハスタジオ Asmo	北区弓削 6-26-1	245-6873
-------------	-------------	----------

●通所リハビリテーション(デイケア)

通所リハビリテーション施設に通う要介護者に対して、身体面の維持や改善を主たる目標として、心身の機能の維持回復を図るため理学療法・作業療法を中心にリハビリテーションを行うサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
武蔵ヶ丘通所リハビリテーション	北区楠 7-15-1	342-5636
介護老人保健施設 ぎんなんの里	北区楡木 1-3-70	337-2700
くすのきクリニック通所リハビリテーション	北区龍田 5-1-41	339-0450
なががわ整形の通所リハビリテーション	北区武蔵ヶ丘 2-2-2	273-1185

●短期入所生活介護

在宅で介護を行っている家族等が、入院や冠婚葬祭等の行事、仕事の都合あるいは介護疲れの休養や家族旅行等により自宅での介護ができない場合に、特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)やその他施設において、一時的に要介護者が入居して、入浴・食事・排泄等の介護やその他の日常生活の支援及び機能訓練を受けるサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
天望庵短期入所生活介護事業所	北区龍田陳内 1-3-30	339-7111
ショートステイさわらび	北区弓削 4-8-1	386-3855
くまもと龍田翔裕園	北区弓削 6-6-31	241-2160

●短期入所療養介護

在宅で介護を行っている家族等が、入院や冠婚葬祭等の行事、仕事の都合あるいは介護疲れの休養や家族旅行等により自宅での介護ができない場合に、介護療養型医療施設や介護保健施設に一時的に要介護者が入所して、医療的な治療や療養・介護・機能訓練・看護等を受けることができるサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
熊本博愛病院	北区楠 6-6-60	338-7117
介護老人保健施設 ぎんなんの里	北区楡木 1-3-70	337-2700
老人保健施設 阿房宮	北区龍田陳内 1-3-20	337-1111

●居宅介護支援

要介護者の自立支援や介護者の負担軽減を図るため、要介護者や家族が有する介護を行う上での課題分析、その課題を解決するための具体的なサービスの揭示、その提供のための調整等のケアマネジメントを行い、居宅サービス計画(ケアプラン)を作成するサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
博愛居宅介護支援事業所	北区楠 6-6-60	338-7537
武蔵ヶ丘指定居宅介護支援事業所	北区楠 7-15-1	339-1165
居宅介護支援事業所かなえ	北区龍田 9-4-34-102	338-6700
ピースマップ合同会社(ケアプランセンターはな)	北区麻生田 2-14-134-1	342-8778
ケアプランセンター 眞	北区龍田 8-14-64	232-7654
リデルホーム龍田居宅介護支援事業所	北区龍田 3-37-7	321-6341
天望庵居宅介護支援事業所	北区龍田陳内 1-3-30	337-1117
居宅介護支援事業所 まごころ	北区武蔵ヶ丘 7-2-6	215-2777
指定居宅介護支援事業所さわらび	北区弓削 4-8-10	386-3855

●福祉用具貸与

心身の機能が低下した要介護者に、身体機能の補充と機能訓練、介護者の負担軽減等を図るために日常生活の自立を助ける用具の貸与(レンタル)を行うサービス。

事業所(施設)名	住所	電話番号
ハイコムライフクリエート株式会社	北区楠 8-18-53	348-8156
株式会社ひまわりらいふ	北区武蔵ヶ丘 6-3-30	243-1703

●特定福祉用具販売

介護保険制度による福祉用具の利用は貸与(レンタル)が基本であるが、入浴用具や排泄用具といった直接身体に触れるもの等、用具の種類によっては貸与されないものもあり、要介護者がそのような用具の購入にかかる費用に対して保険給付を行うサービス。

※ただし、同一年度内においては支給限度基準額 10万円

事業所(施設)名	住所	電話番号
ハイコムライフクリエート株式会社	北区楠 8-18-53	348-8156
株式会社ひまわりらいふ	北区武蔵ヶ丘 6-3-30	243-1703

【高齢者住宅等】

●有料老人ホーム(介護付)

介護サービスを提供する特定施設として指定を受けている有料老人ホームやケアハウス等に入所している方が入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練及び療養上の支援等を受けるところ。

事業所(施設)名	住所	電話番号
介護付き有料老人ホーム さわらびⅡ	北区弓削 4-8-10	348-7103

●有料老人ホーム(住宅型)

介護保険の特定施設入居者生活介護事業所の認定を受けていないタイプの有料老人ホームで、高齢者に配慮された住宅に食事や生活支援等の各種サービスがついたもの。外部の介護サービスを利用することができる。

事業所(施設)名	住所	電話番号
ハイコムライフ武蔵ヶ丘Ⅱ	北区楠 8-14-33	215-8156
ハイコムライフ武蔵ヶ丘	北区楠 8-18-53	348-8156
有料老人ホームゆめ	北区楡木 2-11-144	348-8757
ループたつだ	北区龍田 1-2-10	201-8793
龍田のふるさと	北区龍田 2-3-23	277-1635
住宅型有料老人ホーム龍田の家	北区龍田弓削 1-17-12	342-6063
シニアホーム まごころの家	北区武蔵ヶ丘 7-2-6	215-2777

●サービス付き高齢者向け住宅

介護・医療と連携したサービスを提供するバリアフリー構造の住宅。安否確認・生活相談サービスを提供することが必須です。ケアの専門家が少なくとも日中は建物に常駐し、サービスを提供。介護が必要になった場合は、入居者自身の選択により、外部の介護サービスを利用することができる。

事業所(施設)名	住所	電話番号
サンライトヒル龍田	北区龍田 7-20-23	371-5841(JA 熊本市開発部)

●高齢者住宅

自立もしくは軽度の要介護状態の高齢者を貸借人とする住宅で、施設によりサービスや設備は様々である。入居者自身の選択により、外部の介護サービスを利用することができる。

事業所(施設)名	住所	電話番号
高齢者住宅 鹿鳴館 1号館	熊本市北区龍田陳内 2-25-25	338-8737
高齢者住宅 鹿鳴館 2号館	熊本市北区龍田陳内 2-26-8	338-8737

2) 医療機関 ※北5圏域内にある医療機関を掲載

【病院・診療所】

施設名称	住所・電話番号	診療科目
むさしヶ丘クリニック	北区楠 6-6-55-2 階 ☎277-1790	精神科/心療内科
熊本博愛病院	北区楠 6-6-60 ☎338-7117	内科/リハビリテーション科/放射線科
武蔵ヶ丘病院	北区楠 7-15-1 ☎339-1161	総合診療科/呼吸器科/消化器内科/循環器科/心療内科(精神科)/もの忘れ外来/整形外科/耳鼻咽喉科/リハビリテーション科/放射線科
たけむら耳鼻咽喉科クリニック	北区楠 8-8-8 ☎338-4133	耳鼻咽喉科/アレルギー科/小児耳鼻咽喉科
えがみ小児科	北区楠 8-16-63 ☎339-0331	小児科
まえだクリニック	北区龍田 8-15-64 ☎338-1637	内科/呼吸器科/消化器科/小児科
てつクリニック	北区麻生田 2-14-22 ☎339-2200	内科/呼吸器内科/呼吸器外科/消化器内科/循環器内科
大弓クリニック	北区楡木 2-11-56 ☎339-3066	内科/呼吸器科/胃腸科/循環器科/小児科/神経内科/外科/婦人科/放射線科/アレルギー科
片岡産婦人科医院	北区龍田 4-30-45 ☎339-1103	産婦人科/麻酔科
くわみず病院附属 くすのきクリニック	北区龍田 5-1-41 ☎339-0187	内科/呼吸器科/消化器科/循環器科/小児科/胃腸科/肛門科/アレルギー科/リハビリテーション科/放射線科
小貫医院	北区龍田 5-10-43 ☎338-8011	内科/耳鼻咽喉科/小児科
三の宮内科・泌尿器科医院	北区龍田 1-16-1 ☎338-3511	内科/小児科/皮膚科/泌尿器科
たつだ整形外科	北区龍田 1-16-7 ☎249-4777	整形外科/リウマチ科/リハビリテーション科
あだち内科胃腸科	北区龍田 7-36-40 ☎338-1888	内科/胃腸科/外科/肛門科/リハビリテーション科
上野整形外科医院	北区龍田弓削 1-9-70 ☎338-2811	整形外科/リウマチ科

施設名称	住所・電話番号	診療科目
自由が丘病院	北区龍田陳内1-3-10 ☎338-3111	精神科/心療内科
上原胃腸科外科小児科クリニック	北区武蔵ヶ丘1-8-23 ☎337-3884	内科/小児科/胃腸科/外科/肛門科
みねとまクリニック	北区武蔵ヶ丘2-1-30 ☎337-3370	内科/消化器内科
なかがわ整形	北区武蔵ヶ丘2-2-2 ☎386-3188	整形外科/形成外科/リハビリテーション科/美容皮膚科
山城外科胃腸科	北区武蔵ヶ丘4-10-10 ☎338-2676	胃腸科/外科/整形外科
清藤クリニック	北区武蔵ヶ丘4-10-14 ☎223-5373	内科/小児科/精神科/呼吸器内科/緩和ケア内科
平井皮膚科・アレルギー科	北区武蔵ヶ丘4-10-25 ☎348-1877	小児科/形成外科/皮膚科/アレルギー科
笠岡眼科	北区武蔵ヶ丘4-17-17 ☎348-1700	眼科
ひらやまクリニック	北区武蔵ヶ丘5-23-7 ☎337-8838	泌尿器科/性病科 (人工透析治療可能)
なかむらファミリークリニック	北区武蔵ヶ丘7-1-1 ☎339-1711	内科/胃腸内科/皮膚科/ 美容皮膚科
三嶋内科	北区武蔵ヶ丘8-4-61 ☎339-6000	内科/呼吸器科/消化器科/循環器科/放射線科/麻酔科
西村クリニック	北区武蔵ヶ丘9-3-11 ☎337-6600	内科/呼吸器科/胃腸科/ 循環器科
弓削病院	北区弓削5-12-25 ☎338-3838	精神科

【歯科診療所】

施設名称	住所・電話番号	診療科目
楠歯科クリニック	北区楠 2-13-46 ☎338-5389	歯科
菊川歯科	北区楠 4-3-18 ☎337-0088	歯科/矯正歯科/小児歯科
くすのきハロー歯科診療所	北区楠 6-1-37 ☎339-3030	歯科/小児歯科
渡辺歯科医院	北区楠 8-9-8 ☎338-2345	歯科/矯正歯科/小児歯科
ごとう歯科医院	北区龍田 4-30-38 ☎338-2511	歯科/歯科口腔外科/小児歯科
田島歯科診療所	北区龍田 9-6-35 ☎338-5523	歯科/矯正歯科/小児歯科
やけいし歯科	北区龍田 1-15-8 ☎338-7018	歯科/歯科口腔外科/小児歯科
くすのき子供歯科	北区龍田 8-9-85 ☎386-3111	歯科/歯科口腔外科/小児歯科
田中歯科医院	北区龍田 8-20-61 ☎338-0011	歯科/矯正歯科/歯科口腔外科/小児歯科
たつたぐち歯科クリニック	北区黒髪 7-101-3 ☎342-5465	歯科/矯正歯科/歯科口腔外科/小児歯科
としのり歯科	北区龍田 1-3-4 ☎337-0844	歯科/歯科口腔外科/小児歯科
眞方歯科医院	北区龍田弓削 1-14-73 ☎339-8688	歯科
エム歯科クリニック	北区武蔵ヶ丘 1-8-23 ☎337-1082	歯科/小児歯科
ひまわり歯科	北区武蔵ヶ丘 1-14-10 ☎337-7727	歯科/矯正歯科/歯科口腔外科/小児歯科
えがしら歯科クリニック	北区武蔵ヶ丘 4-10-16 ☎338-9631	歯科/小児歯科
ムサシ歯科クリニック	北区武蔵ヶ丘 4-16-26 ☎338-5959	歯科/矯正歯科/歯科口腔外科/小児歯科
友枝歯科医院	北区武蔵ヶ丘 5-1-16 ☎339-4593	歯科/矯正歯科/歯科口腔外科/小児歯科
こじま歯科医院	北区武蔵ヶ丘 5-13-15 ☎337-3640	歯科/矯正歯科/小児歯科

3) 警察・消防・郵便局・公共施設等

事業所(施設)名	住所・電話番号	備考
熊本北合志警察署 新地交番	北区清水新地 5-1-1 ☎339-0192	楡木校区 1、2 町内
熊本北合志警察署 龍田交番	北区龍田 7-21-5 ☎338-5411	龍田・龍田西校区
熊本北合志警察署 武蔵楠交番	北区武蔵ヶ丘 4-16-18 ☎338-6784	楡木校区 3、4 町内 楠・武蔵・弓削校区
熊本市消防局 北消防署 楠出張所	北区楠 5-7-60 ☎339-3036	
熊本楠郵便局	北区楠 3-9-15 ☎338-8055	
熊本上立田簡易郵便局	北区龍田 1-1-2 ☎338-0834	
竜田郵便局	北区龍田 7-20-25 ☎338-8272	
熊本武蔵ヶ丘団地郵便局	北区武蔵ヶ丘 4-18-7 ☎338-8615	
竜田出村簡易郵便局	北区弓削 2-3-37 ☎337-2717	
熊本市北区役所 龍田まちづくりセンター (龍田総合出張所)	北区龍田弓削 1-1-10 ☎338-2231	
熊本市北区役所 龍田まちづくりセンター (龍田公民館)	北区龍田弓削 1-1-10 ☎339-3322	
楠地域コミュニティセンター	北区楠 3-9-16 ☎339-2088	
楡木地域コミュニティセンター	北区楡木 4-20-42 ☎339-0010	
龍田地域コミュニティセンター	北区龍田 8-2-7 ☎337-6884	
武蔵地域コミュニティセンター	北区武蔵ヶ丘 5-15-15 ☎337-3938	
弓削地域コミュニティセンター	北区弓削 3-14-1 ☎337-2102	

4) インフォーマルサービス(介護保険を利用しないサービスのこと)

- ① 食に関すること(共同購入、食品や弁当の配達等)
- ② 住まいに関すること(住み替えや高齢者住宅の相談・紹介等)
- ③ 活動に関すること(地域の高齢者サロンや老人会、公民館等の自主講座等)
- ④ 移動に関すること(介護タクシー等)
- ⑤ その他(便利屋や出張サービス等)

※インフォーマルサービスについては、ささえりあ武蔵塚まで ☎096-339-8130

3. 地域活動の状況

1) サロン・老人会・くまもと元気くらぶ・地域行事・イベント等

開催状況に関しては、添付資料を参照

2) 地域団体の組織活動状況

会議等の名称	校区	開催日程	場所
楠校区自治協議会定例会	楠	毎月第2水曜 9:00～	楠地域コミュニティセンター
楠校区民生児童委員協議会定例会	楠	毎月第2金曜 10:00～	楠地域コミュニティセンター
楡木校区自治協議会定例会	楡木	毎月第1木曜 13:30～	楡木地域コミュニティセンター
楡木校区民生児童委員協議会定例会	楡木	毎月第2金曜 13:30～	楡木地域コミュニティセンター
龍田校区自治協議会定例会 (自治会長のみ)	龍田	毎月第2水曜 13:30～	龍田公民館
龍田校区老人クラブ連合会	龍田	毎月末土曜	龍田地域コミュニティセンター
高齢者福祉ネットワーク	龍田	毎年4月	龍田公民館
龍田西校区自治協議会定例会	龍田西	毎月第3土曜 19:00～	陳内公民館
龍田・龍田西校区民生児童委員協議会定例会	龍田 龍田西	毎月第2金曜 13:00～	龍田地域コミュニティセンター
武蔵校区自治協議会定例会	武蔵	毎月第1水曜 19:00～	武蔵地域コミュニティセンター
武蔵校区民生児童委員協議会定例会	武蔵	毎月第2月曜 10:00～	武蔵地域コミュニティセンター
武蔵校区福祉ネットワーク会議	武蔵		武蔵地域コミュニティセンター
弓削校区自治協議会定例会 (会長のみ)(役員全体会は2ヶ月に1回)	弓削	毎月第1金曜 19:30～	弓削地域コミュニティセンター
弓削校区民生児童委員協議会定例会	弓削	毎月第2月曜 10:00～	弓削地域コミュニティセンター
熊本市北5地域包括支援センター 地域運営協議会(協議体含む)	6校区	開催月の下旬頃 (6、9、12、3月)	武蔵ヶ丘病院4階ホール
20日会(楠、楡木、龍田、龍田西、武蔵、弓削校区社会福祉協議会ブロック会議)	6校区	開催月の20日前後 (5、8、11、2月)	龍田公民館

3) ボランティア等情報

団体の名称	主な活動内容	事務局情報等
武蔵校区福祉協力員	ふれあいサロンの運営や福祉レクリエーションへの協力、必要に応じて地域住民への声掛け等	事務局：武蔵校区社会福祉協議会
弓削校区介護予防リーダー (52名)	地域の中で自分自身や家族、住民がいつまでも健康に暮らせるよう、学んだ事を人に伝えたり、できる範囲で地域活動に協力する	問合せ：ささえりあ武蔵塚 連絡先：339-8130
認知症サポーター	認知症を正しく理解して、認知症の人や家族を温かく見守る応援者	問合せ：ささえりあ武蔵塚 連絡先：339-8130
認知症アクティブサポーター	実践研修を受講した認知症サポーターが、より積極的な活動を行う	問合せ：ささえりあ武蔵塚 連絡先：339-8130
NPO 法人ひとり暮らし高齢者の笑顔をつくる会熊本支部	介護保険外サービスを安価に提供する。買い物代行、家事手伝い、安否確認・見守り、お散歩や病院の付き添い	事務局：北区龍田陳内 2-11-7 連絡先：090-3417-9639
NPO 法人武蔵ヶ丘ご近所クラブ	高齢者健康維持活動、福祉有償運送、御用聞き活動、サークル	事務所：北区武蔵ヶ丘 3-7-17 連絡先：096-338-8584

4) 地域の医療・介護関係者の連携会議、勉強会等

会議等の名称	開催日程	内容
北5圏域居宅介護支援事業所・地域包括支援センター連絡会	奇数月 14:00~15:30	包括居宅間の情報交換や困難事例の検討等
楠中学校区(楠・楡木校区) 介護サービス事業所連絡会	毎月第2木曜 14:00~15:00	高齢者支援の充実や地域貢献を目指して、ささえりあ武蔵塚と校区内の医療機関や介護サービス事業所間の情報交換等を行う
龍田中学校区(龍田・龍田西校区) 介護サービス事業所連絡会	毎月第3木曜 10:00~11:00	高齢者支援の充実や地域貢献を目指して、ささえりあ武蔵塚と校区内の医療機関や介護サービス事業所間の情報交換等を行う
武蔵中学校区(武蔵・弓削校区) 介護サービス事業所連絡会	毎月第3火曜 14:00~15:00	高齢者支援の充実や地域貢献を目指して、ささえりあ武蔵塚と校区内の医療機関や介護サービス事業所間の情報交換等を行う
自立支援型地域ケア会議	奇数月第4月曜 14:00~15:30	高齢者の生活の質向上や自立支援に資するケアマネジメントを目指し、専門多職種が検討を行う

4. 地域における支えあい推進のための課題整理と今後の方向性

【楠校区】

課題整理	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事に参加する高齢者は減少傾向にあり、付き合いが希薄な方の安否がつかみにくい。 ・高齢者で身寄りのない夫婦世帯やひとり暮らしが増え、市営団地等では孤独死も起きている。 ・地域の中で見守りを行うにあたって、個人情報や壁となり現在の支援に限界を感じている。 ・身寄りがない他、疾患や障害、所得をはじめとした問題を複合的に負っている高齢者もいる。 ・みなし仮設住宅入居者の支援(日常生活支援やみなし期間終了後の生活等について)の継続。 ・スーパー、金融機関、医療機関等が充実しているが、自力で行くことができない方も多い。 ・重いものを抱えることが困難だったり、曜日の認識ができない等ゴミ出しに困っている方がいる。 ・認知症の心配がある高齢者はいるが、本人や家族の受け入れが難しい場合等、支援の必要性を感じてもうまく繋がらないケースがある。 ・市営団地は、緊急時に鍵の解錠が容易でないことや、階段幅が狭く担架が使用できなかつたり、高齢で整理ができず室内が雑然としている場合もある等、非常時の救出や対応時に心配な方がいる。 	
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員とささえりあ武蔵塚で状況把握を行い、必要な支援へと繋いでいく。 ・定期的に見守りが必要と思われる方には、ひとり暮らし高齢者訪問事業の紹介を行う。 ・他機関と連携を取りながら、高齢者世帯の孤独や孤独死防止の対策を進めていくための情報交換、問題解決の場としてネットワーク会議を開催する。 ・既存の地域活動と共に、サロンやくまもと元気くらすの新設を推奨し、新たな通いの場を創出する。 ・身近で利用できるサービス(配達可能な店舗や移動販売業者等)の情報提供を行う。 ・ゴミ出しは近隣で支援しているところもあるが、熊本市のふれあい収集についても情報提供を行う。 ・地域における支えあいの体制構築に向けて、地域のニーズや担い手の発掘を行う。 ・様々な世代を対象に認知症サポーター養成講座やフォローアップ研修を定期的で開催する。 ・認知症アクティブサポーターの養成とアクティブチームの創出を行っていく。 ・認知症による徘徊者への声かけ模擬訓練の開催を継続し、地域住民の理解を深めていく。 ・高齢世帯やひとり暮らしの高齢者に火災報知機設置の声かけを行っていく。 ・地域の関係機関と協力しながら災害時の対応や対策を検討していく。 	
令和元年度 第3回地域運営協議会で出た意見 (支えあいの仕組みづくりについて地域で取り組んでみたいこと)	
<p>(校区単位) ・支援の申込みを受ける調整役の人を組織の要に置き、有償で運用できる仕組みを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の組織図を作る(調整役、協力者、全体を把握する人) <p>(隣保単位) ・隣保や隣近所のゴミ出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合い <p>(個人単位) ・通院や買い物の付き添い(手伝い)、また連れて行ってくれるような仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時折訪問して話し相手になる ・草取りや庭の剪定の手伝い ・食事の支援 	

【楡木校区】

課題整理	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行事や老人会、サロン活動の参加者が少なかったり、固定化している。 ・ 認知症、閉じこもり、うつ等の方の把握が難しく、支援が困難となっている。 ・ 高齢者で身寄りのない夫婦世帯やひとり暮らしが増え、市営団地等では孤独死も起きている。 ・ みなし仮設住宅入居者の支援(日常生活支援やみなし期間終了後の生活について)の継続。 ・ 町内によってはスーパーや医療機関、銀行、郵便局等がほとんどないうえ、バス路線もなく外出が不便な地域がある。 ・ 重いものを抱えることが困難だったり、曜日の認識ができない等ゴミ出しに困っている方がいる。 ・ ゴミ収集車が入ることができないような狭い道がある。 ・ 認知症が心配な高齢者はいるが、本人や家族の受け入れが難しい場合等、支援の必要性を感じてうまく繋がらないケースがある。 ・ 市営団地は、緊急時に鍵の解錠が容易でないことや、階段幅が狭く担架が使用できなかったり、高齢で整理ができず室内が雑然としている場合もある等、非常時の救出や対応時に心配な方がいる。 	
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存のサロンや老人会への参加勧奨を継続すると共に、活動の充実を図っていく。 ・ 民生児童委員とささえりあ武蔵塚で状況把握を行い、必要な支援へと繋いでいく。 ・ 自治会や民生児童委員、ささえりあ武蔵塚、L S A等との情報交換の場を検討する。 ・ 地域ささえ合いセンターとの連携、情報共有等を行う。 ・ 定期的に見守りが必要と思われる方には、ひとり暮らし高齢者訪問事業の紹介を行う。 ・ 社協主催等の行事においては、今後も出欠確認を兼ねた高齢者の見守りを実施する。 ・ 市営楠団地のL S A棟においてはL S Aによる朝の声かけによる安否確認を継続すると共に、入院等での不在連絡を関係機関に行ってもらい見守りを実施する。 ・ 介護予防サポーター養成講座の実施を検討し、サロンや老人会、地域行事での協力者を育成する。 ・ 身近で利用できるサービス(配達可能な店舗や移動販売業者等)の情報提供を行う。 ・ 近くの医療機関やスーパー、金融機関等に必要に応じて、地域のニーズを伝える機会を設ける。 ・ 訪問診療(内科、歯科)に関する情報の提供を行う。 ・ 熊本市のふれあい収集について情報提供を行う。 ・ バスやタクシー等を効率よく利用する方法の検討を行う。 ・ シルバーボランティア養成および活動助成事業の利用を検討していく。 ・ 地域における支えあいの体制構築に向けて、地域のニーズや担い手の発掘を行う。 ・ 様々な世代を対象に認知症サポーター養成講座やフォローアップ研修を定期的で開催する。 ・ 認知症アクティブサポーターの養成とアクティブチームの創出を行っていく。 ・ 認知症による徘徊者への声かけ模擬訓練の開催を継続し、地域住民の理解を深めていく。 ・ 介護者向けの講習会の開催を検討する。 ・ 地域の関係機関と協力しながら災害時の対応や対策を検討していく。 	
令和元年度 第3回地域運営協議会で出た意見 (支えあいの仕組みづくりについて地域で取り組んでみたいこと)	
(町内単位) <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内の組織の中に「ボランティア」組(班)を作る ・ 子ども食堂等を多く利用してもらいたい ・ 若年層との関わりがない(きっかけ) 	(隣保単位) <ul style="list-style-type: none"> ・ 隣保班内の住人宅の庭の草取り
(個人単位) <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の方のゴミ出し位ならできる ・ 庭木の剪定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の清掃(犬のフン) ・ 独居者は話し相手を! ・ 安否確認のためのあいさつ

【龍田校区】

課題整理

- 地域のつながりが希薄になり、アパート等の自治会未加入者は把握ができず、日常的な交流もないため、人間関係の構築が難しい。
- サークル等集まる場所や、高齢者が楽しむ場(機会)が少ない。
- 家にこもりがちになる高齢者を地域活動や隣保行事に参加してもらうのが難しい。
- 地理的条件により買い物に不便を感じている高齢者が増えている。
- 地域によっては近隣で買い物ができる店が無く、また校区全体的にみても少ない。
- 配達可能なスーパー等の買い物に関する情報が高齢者に足りない。
- 食事に行く場所が少ない。
- 重い物を持つのが辛く感じるうえに、坂道が多く、買い物が大変。

今後の方向性

- 今後、独居高齢者や要支援者が増えることが予測されているため、行政や地縁組織、介護サービス事業所等と連携し地域活動支援体制を構築する必要がある。
- 民生児童委員とささえりあ武蔵塚で状況把握を行い、必要な支援へと繋いでいく。
- 定期的に見守りが必要と思われる方には、ひとり暮らし高齢者訪問事業の紹介を行う。
- 校区社協や自治会等と介護サービス事業所と連携しサロン活動の活発化を図る。
- 介護予防教室等の定期的開催を検討する(月に1回程度)。
- 公民館や老人憩の家を開放し、気軽に参加できるサロンの場や集いの場として提供する。
- 郵便局や新聞販売店等との連携を図り、見守り体制を構築する取り組みの検討をする。
- 地域住民同士が地域活動やサロン等への参加をお互いに声をかけあう取り組みの検討をする。
- 男性や閉じこもり高齢者が参加しやすい活動内容を検討する。
- 行政や地縁組織、ボランティア、タクシー協会、商店等との連携で買い物支援体制を構築する。
- 移動販売業者やスーパーの配達サービス等の買い物に関する情報の提供を行う。
- 買い物やちょっとした手伝いができるボランティアを地域住民の中で育成する仕組みを検討する。
- 一般向けや小学校での認知症サポーター養成講座を継続するほか、中学校での開催も検討する。
- 若い世代からサロン等への協力をするボランティアを募り育成するシステムの構築を検討する

令和元年度 第3回地域運営協議会で出た意見 (支えあいの仕組みづくりについて地域で取り組んでみたいこと)

- (校区単位) • 小学校の登校時間に通学路に見守りの人がいればいい
 - 様々な世代が交流できる様な場所があるといい
- (町内単位) • 全所帯に自治会に入るよう呼びかけ(それができれば他のも決の糸口が見える)
 - 保組長を利用したボランティア活動
 - 細かなお手伝いをお願いできるようなボランティア組織と活用できる場所があるといい
- (隣保単位) • ゴミ出し後の始末、ルールを守ってほしい
 - 独居高齢者のゴミ出しやちょっとした手伝いができる仕組みがあるといい
 - 病院や買い物に連れて行く仕組みがあればいい
 - 見守り対象者の隣人による見守り
- (個人単位) • ゴミ出し協力、自分の住んでいる所のゴミ捨ての手伝いはできる

【龍田西校区】

課題整理
<ul style="list-style-type: none">・高齢者のみの夫婦世帯やひとり暮らしは増加傾向にあるが、多世代同居世帯も多い傾向にある。・日中一人で過ごしている高齢者に対してのケアが不足している。・自治会や老人会に加入しない方が増えてきている。・平成30年度まで開催されていた基幹型ふれあいサロンがなくなり、集いの場が減っている。・校区内が3つの丘陵地に分かれていることから、坂も多く、また1・3町内には公民館等の集える場所がないため、2町内にある陳内公民館まで徒歩で行くことが難しい高齢者も多い。・校区内に商店や、金融機関、医療機関がほとんどない。・丘の上の住宅地にはバスの乗り入れがなく、北バイパスを走るバスの本数も限られている。・重いものを抱えることが困難だったり、曜日の認識ができない等ゴミ出しに困っている方がいる。・実際に認知症による行方不明が発生している。・新興住宅地で隣近所との関わりが希薄だったり、若い世代の地域活動への参加が少ないことや、日中は仕事で不在の家庭が多い等、住民の様子についての把握が難しい。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none">・民生児童委員とささえりあ武蔵塚で状況把握を行い、必要な支援へと繋いでいく。・定期的に見守りが必要と思われる方には、ひとり暮らし高齢者訪問事業の紹介を行う。・基幹型サロンは廃止になったが、校区社協主催でくまもと元気くらぶが立ち上がり、継続している。・4町内では年1回、集会所を利用して健康づくり教室が開催されている。・龍田西小学校では、地域住民を対象にスクールガードを募集し、登下校時の見守りボランティアを実施している。メンバーの中心は高齢者で、自身の健康づくりや世代間交流の場にもなっている。・4町内では令和2年度より住民によるボランティア「お助け隊」が発起することになった。・公共交通機関や乗り合いタクシー等の整備やルート、利用方法を検討する必要がある。・移動販売業者やスーパーの配達サービス等の買い物に関する情報の提供を行う。・一般向けや小学校での認知症サポーター養成講座を継続するほか、中学校での開催も検討する。・認知症サポーターにアクティブサポーターとして活動してもらえるような仕組みを検討する。・校区内の介護サービス事業所等と連携し、地域での見守り体制の構築について検討する。・今後も世代間交流の場を発展、継続させていく。
令和元年度 第3回地域運営協議会で出た意見（支えあいの仕組みづくりについて地域で取り組んでみたいこと）
<p>(校区単位)</p> <ul style="list-style-type: none">・体力づくりや運動・若い人が気軽に地域活動に参加してくれる環境・手入れのされていない竹林や森林を整備してくれる人がいたら良い <p>(町内単位)</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの登下校時に付き添ってくれる大人の方がいるといい・家の近くに買い物ができるお店があるといい・病院や買い物への送迎、買い物の手伝い・週に2回程乗り合いタクシーで買い物に行く・庭の草刈りや剪定をお助け隊でやる・少時間の雑談の相手 <p>(隣保単位)</p> <ul style="list-style-type: none">・ゴミ出しで困っている家庭を隣保班で当番制でサポートする・ゴミ出しの手伝い・近所に子ども達が増えると良い <p>(個人単位)</p> <ul style="list-style-type: none">・ゴミ出しやちょっとした買い物、声かけ位なら出来る・近所の見守り・庭の掃除や水やり・話し相手

【武蔵校区】

課題整理	
<ul style="list-style-type: none"> • 人口は増えているが自治会や老人会未加入者も多く、自治会や民生児童委員でも把握できない住民が増えた(閉じこもり等の支援が必要な方は近隣との日常的な交流も少なく地域とのつながりが希薄)。 • 校区社協主催のふれあいサロンが毎週行われているが、参加者が固定化している。 • 高齢化が進み要支援者の数が増えているが、支援者のなり手が減ってきている。 • 活動をしたくても高齢者が気軽に利用できる集会所が少ない。 • 行政機関(北区役所、龍田まちづくりセンター等)へ行く交通機関が少なく不便を感じている。 • 光の森への交通の便は充実しているが毎日の買い物になると不便。 • 今後、バスの乗り降りが難しくなった時に買い物に不自由する。 • ムサシプラザの食料品や衣料品店が閉店し、歩いて行ける店がなく不便を感じている高齢者がいる。 • 近所に店がなく日常的な買い物にいけないので移動販売業者に来て欲しいとの要望がある。 • 認知症家族がふれあう場がない。 	
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者が閉じこもらず地域とのつながりを作ることができるよう、サロン等の地域活動を誰もが参加しやすい内容や場所等で開催できるよう関係各所と連携を図る。 • 民生児童委員とささえりあ武蔵塚で状況把握を行い、必要な支援へと繋いでいく。 • 定期的に見守りが必要と思われる方には、ひとり暮らし高齢者訪問事業の紹介を行う。 • ふれあいサロンの新しい参加者への声かけの方法を検討。 • サロン活動への協力者(福祉協力員をはじめ、ボランティアで活動を手伝える地域住民の方)を募り、今後サロン活動等の中心的な役割を果たしていけるよう育成する。 • 外出が困難な高齢者への外出や買い物等の支援体制作りが必要。 • 校区社協を中心に関係各所が連携し外出や買い物等を手伝うボランティアの立ち上げを検討。 • 今後も行政や交通機関へ地域の要望を継続してすことを検討。(バス路線の見直し、合志市循環バスキャロットバスの延線等) • NPO団体、乗り合いタクシーの利用も検討。 • 移動販売については検討が必要。 • 認知症徘徊者声かけ模擬訓練を継続して開催する。 • 若い世代が高齢者や認知症の方への理解を深め地域活動に積極的に参加できるようにする。 • 武蔵小学校、武蔵中学校では認知症キッズサポーター養成講座を今後も継続して行う。 • 武蔵中学校より運動場で子ども達に向けての声かけ訓練をしていきたいとの要望がある。今後学校ぐるみで子どもや親(P T A)と一緒に体験できる徘徊模擬訓練を検討する。 • 高齢者と若い世代が交流できる機会(保育園や幼稚園、小学校と連携し昼食会等)の検討をする。 • 認知症家族への取り組みとして認知症カフェの活用方法を検討する。 	
令和元年度 第3回地域運営協議会で出た意見 (支えあいの仕組みづくりについて地域で取り組んでみたいこと)	
(校区単位)	<ul style="list-style-type: none"> • 防犯カメラがあったら心強い • ひなたぼっこしながらの楽しいおしゃべり(イスやその場所) • 24時間オープンしている介護施設、相談センター(家族向け) • 車椅子体験をしてほしい • 高齢者対象の弁当配送センターの開所 • 食べ物等の移動販売車がほしい
(町内単位)	<ul style="list-style-type: none"> • 町内の安全見守り
(隣保単位)	<ul style="list-style-type: none"> • ゴミ出しのお手伝いができる • 敷地外の落ち葉拾い • 隣保班で集まれる場所があれば • 回覧板まわし、コピーの作成、交付 • 簡単な買い物(日用品等) • お年寄りとの話し相手
(個人単位)	<ul style="list-style-type: none"> • 話し相手、対話(困り事について話を聞く、定期的に) • 病院への送迎等の車を使ったお手伝いができる • 庭の掃除や草刈り

【弓削校区】

課題整理	
<ul style="list-style-type: none"> ・サロン等地域活動や若い世代との交流については継続発展させていく必要がある。 ・サロン参加者を中心にアンケートを実施し、回答者の 8 割程が地域活動に参加したり協力をしていると答え、参加したことで人(同年代)との関わりが増えたと答えた方が多く地域活動の効果がでてきている一方で、若い世代との交流が少ないと感じている方もいる。参加していないと答えた方の理由としては「その場まで行くのが難しい、情報が少ない、興味が無い」と回答があった。 ・家族構成について 1、2 町内は農家が多く 2 世帯以上で暮らしている方が多くいることが分かった。 ・アンケートでは生活面で困りごとはないと答えた方が 60.2%で、2 世帯以上で暮らしている方が多いこともあり、さほど生活に関して困りごとを感じていない。あると答えた方の多くは公共施設や交通、買い物等暮らしに関することに不便を感じている。 ・アンケートでは健康に関する困りごとがある方は半数程。持病や治療歴がある、服薬している、背中や腰が痛い、視力の低下等が多い。健康に過ごすために散歩やウォーキング、食事に気をつかう、定期検査を受ける、趣味活動やスポーツ活動をしていると答えた方が多く健康に対する意識が高い。 ・地域に必要と感じているものは商店や交通機関、公共施設が多く、運動や暮らし、医療介護に関する勉強会の機会や場所の要望も多い。介護保険施設(有料老人ホーム)に必要性を感じていない。 	
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員とささえりあ武蔵塚で状況把握を行い、必要な支援へと繋いでいく。 ・定期的に見守りが必要と思われる方には、ひとり暮らし高齢者訪問事業の紹介を行う。 ・若い世代との交流についてはスポーツ大会等を含め全世代が参加できるイベントを今後も開催する。 ・青少協や子ども会、PTAにも協力してもらいPTA行事等の中で認知症サポーター養成講座等を開催すれば若い世代が参加しやすいのではないかという意見がある。 ・サロン活動については今後も継続して行うが、男性の参加が少なかったり、参加者が固定している等の課題もあるため内容を検討する必要がある(グランドゴルフや食事等がある活動は参加が多い)。 ・地域交流や閉じこもりの高齢者への対策としてサロン等を今後も継続発展させるために校区社協、自治会、民児委員、老人会等や介護サービス事業所等の関係各所との連携を図る。 ・熊本市の出前講座の活用や体力測定や健康体操、医療福祉の制度についての講座の開催を検討する。 ・男性や閉じこもりになっている高齢者が参加しやすいサロン内容や実施場所等を検討する(校区内の特別養護老人ホームでは男性向けの料理教室を年 2 回程度実施中)。 ・若い世代向けに高齢者や認知症の方についての理解を深める活動として、校区社協や自治会、民児委員、青少協、PTA、介護サービス事業所等と連携し若い世代向け(30~50 代)の認知症サポーター養成講座を地域行事や学校(PTA)行事等で開催できないか検討する。 ・弓削小学校の認知症キッズサポーター養成講座や介護福祉施設への見学交流会は継続して開催する。 ・認知症の方への対応方法を学ぶ機会や地域で認知症の方を見守るためのきっかけ作りとして認知症徘徊者捜索模擬訓練等の行事開催を検討する。 	
令和元年度 第 3 回地域運営協議会で出た意見 (支えあいの仕組みづくりについて地域で取り組んでみたいこと)	
(校区単位) ・多様な世代の交流 (町内単位) ・ちょこボラのシステムづくり ・移動販売の確立 ・竹林の管理への取り組み (隣保単位) ・ゴミ出しの手伝いや融通の検討およびゴミ出し場所の掃除 (個人単位) ・花の植え替えや庭の除草、植木等の剪定 ・話し相手 ・掃除や洗濯の手伝い	<ul style="list-style-type: none"> ・社協等の認識を広める ・買い物したい人を車で連れて行く ・ニーズ(困り事)の抽出 ・乗り合いタクシーの拡大(場所) ・家の周りの清掃 ・カーテンや電球の取り替え ・買い物の手伝い